

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年3月期	6,080,130株	2020年3月期	6,080,130株
2021年3月期	155,320株	2020年3月期	120,400株
2021年3月期	5,963,295株	2020年3月期	5,909,477株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績予想等は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等により、大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社が属するアミューズメント業界におきましては、新型コロナウイルス感染症が未だ収束を見せず、個人消費が依然として減少傾向にある中で、極めて不透明な状況が続いております。2020年4月に発生しました政府の緊急事態宣言による店舗の臨時休業及び営業時間の短縮等により、当社の主力事業であるアミューズメント施設運営事業は、売上高が前年実績を大きく下回る結果となりました。しかしながら緊急事態宣言解除後は順次営業を再開し、人気キャラクター「鬼滅の刃」の景品展開強化及び関連イベントの実施や、全店にてキャンペーン等の集客施策を実施し、売上の回復を図って参りました。この結果売上高は段階的に回復し、諸経費全般の削減に努めたことも奏功して、2021年1月以降は2度にわたり業績予想の修正を実施しました。

アミューズメント施設運営事業におきましては未だ予断を許さない状況が続いておりますが、改めて基本に立ち返り、「明るい、安心、三世代」をテーマとして、店頭での新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を徹底し、お客様が安全に、そして安心してお楽しみいただける店舗運営に注力して参ります。

また将来の市場規模成長が期待されるeスポーツにおきましては、2020年12月に一般社団法人日本eスポーツ連合の長野支部に認定されたことを機に、一般社団法人長野県eスポーツ連合を設立しました。今後も大会開催等を通じて、中長期的な企業価値の向上と行政や地域コミュニティとの連携強化を積極的に推進して参ります。

以上の結果、当事業年度における業績は、売上高10,710,003千円（前年同期比21.2%減）、営業利益23,746千円（同90.5%減）、経常利益433,678千円（同29.2%増）、当期純損失は129,345千円（前年同期は当期純利益38,705千円）となりました。

今後、当社はこれまでの取り組みを進化させると同時に、企業体質の強化に加え、事業間のシナジー効果を発揮すべく業務プロセスや収益管理の改善に継続的に取り組むことにより、更なる業績の向上と事業の成長を目指して参ります。

当事業年度における、セグメント別の概況は次のとおりであります。

① アミューズメント施設運営事業

アミューズメント施設運営事業におきましては、景品ゲームの利用促進イベントの開催、メダルゲームの新規顧客の掘り起しを含む来店促進策の実施等、様々な活性化策により来店客数の増加に努めました。特に景品ゲームにおいては、人気キャラクターとのコラボレーション企画によるプレイ促進施策、SNSを利用した来店促進施策、継続的な在庫管理精度向上への取組等を積極的に実施しました。なお、2020年5月に「アピナキッズパーク大津京店」、2020年10月に「アピナ各務原店」の計2店舗を開設する一方、6店舗を閉鎖しており、総施設数は55施設となっております。

以上の結果、アミューズメント施設運営事業における売上高は8,254,445千円（前年同期比23.1%減）、セグメント利益(営業利益)は505,695千円（同42.8%減）となりました。

② アミューズメント機器販売事業

アミューズメント機器販売事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、アミューズメント機器の発売や納期の延期、景品等の受注キャンセル等が発生し、売上高が前年実績を大きく下回る結果で推移しました。しかしながら第3四半期累計期間に入ってから、それまで低迷していた景品販売が回復し、また人気キャラクター「鬼滅の刃」関連景品の売上が全体を牽引して、売上高は段階的に回復しました。この結果、売上高は2,306,862千円（前年同期比15.4%減）、セグメント利益(営業利益)は39,990千円（同30.1%減）となりました。

③ その他事業

その他事業とは主に各種媒体を利用した広告代理店業であり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によるイベント等の自粛や広告費の削減等が発生したものの、販促品の販売が増加し、その他事業における売上高は148,694千円（前年同期比12.4%増）、セグメント利益(営業利益)は13,584千円（同91.1%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度における当社の資産合計は、前事業年度末と比較して699,406千円増加し、11,007,970千円となりました。この要因は、現金及び預金が2,036,744千円増加したこと、アミューズメント機器（純額）が738,855千円、繰延税金資産が198,729千円、投資その他の資産のその他が251,585千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(負債)

当事業年度末における負債合計は、前事業年度末と比較して910,767千円増加し、7,958,584千円となりました。この要

因は、長期借入金が911,416千円、買掛金が171,667千円それぞれ増加したこと、未払金が192,154千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産合計は、前事業年度末と比較して211,361千円減少し、3,049,386千円となりました。この要因は、利益剰余金が212,776千円減少したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物の期末残高は、前事業年度末に比べて2,100,744千円増加し、4,281,404千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は1,072,208千円(前期比33.5%減)となりました。これは主に、税引前当期純利益122,157千円、減価償却費1,266,413千円、仕入債務の増加110,499千円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により獲得した資金は104,331千円(前期は1,681,167千円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出621,192千円がありましたが、保険積立金の解約による収入783,773千円等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は924,204千円(前期は428,517千円の使用)となりました。これは、長期借入れによる収入2,500,000千円がありましたが、長期借入金の返済による支出1,456,370千円等があったことによるものです。

(4) 今後の見通し

(アミューズメント施設運営事業)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による事業への影響は、今後も段階的かつ広範囲に出てくると予想しており、依然として当社業績への影響は不透明な状況であります。2021年4月には都道府県の緊急事態宣言に基づく休業要請により、該当エリアの一部店舗で臨時休業を実施し、本書提出日現在も一部の店舗にて営業時間の短縮等の措置を講じております。このような状況ではありますが、店頭では引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を徹底し、最新のアミューズメント機器投資、景品ラインナップの充実、魅力あるイベント開催等を効果的かつ積極的に実施することにより、直営店(既存)の売上高を確保します。また新規出店につきましては、入手可能な関連情報を緻密に検討するとともに現地調査を十分に実施し、店舗開発を積極的に推進していきます。

(アミューズメント機器販売事業)

新製品の取り扱いをベースとしたうえで、新規取引先の開拓、既存製品の買い替え及び電子マネー設備投資の需要への対応を積極的に推進していきます。

また営業債権の与信リスクに留意しつつ、既存取引先への安定した供給と新規取引先の開拓を図っていきます。

(その他事業)

前期実績をベースとしたうえで、課題解決提案による既存取引先との関係強化を図るとともに、新規取引先の開拓を積極的に推進していきます。また多店舗展開している企業に対しては、これまで培ってきた店舗開発のノウハウを活かして受注拡大に努めていきます。

※本資料における予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであります。予想に内在するさまざまな不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の業績と異なる場合がありますので、ご承知おきください。

（5）継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

財務諸表は会社法上の分配可能額の計算や法人税法上の課税所得の計算においても利用されることに鑑み、当社は日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,610,460	4,647,204
受取手形	194,241	111,259
売掛金	484,268	591,662
有価証券	—	200,000
商品	37,633	29,217
貯蔵品	169,392	132,280
前渡金	13,017	3,962
前払費用	246,540	276,985
未収入金	40,586	8,832
その他	42,203	46,478
貸倒引当金	△1,826	△1,368
流動資産合計	3,836,518	6,046,515
固定資産		
有形固定資産		
アミューズメント機器 (純額)	1,926,815	1,187,959
建物 (純額)	1,311,338	1,189,966
構築物 (純額)	14,989	12,921
機械及び装置 (純額)	22,511	32,050
車両運搬具 (純額)	0	0
工具、器具及び備品 (純額)	164,432	130,166
土地	764,314	764,314
リース資産 (純額)	7,235	2,868
建設仮勘定	57,022	1,474
有形固定資産合計	4,268,660	3,321,721
無形固定資産		
ソフトウェア	19,495	18,743
リース資産	3,600	2,400
その他	8,277	21,858
無形固定資産合計	31,372	43,001
投資その他の資産		
投資有価証券	103,629	116,904
出資金	20,296	19,844
長期貸付金	1,505	930
破産更生債権等	70,860	51,212
長期前払費用	76,461	21,440
繰延税金資産	236,096	37,366
敷金及び保証金	1,324,730	1,252,329
その他	399,483	147,897
貸倒引当金	△61,050	△51,194
投資その他の資産合計	2,172,013	1,596,732
固定資産合計	6,472,045	4,961,455
資産合計	10,308,564	11,007,970

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	315,448	254,280
買掛金	627,513	799,181
1年内返済予定の長期借入金	1,204,370	1,336,584
リース債務	9,601	2,844
未払金	752,093	559,938
未払費用	73	135
未払法人税等	1,046	70,727
前受金	6,024	23,511
預り金	31,829	24,299
資産除去債務	20,307	2,420
賞与引当金	69,458	69,732
設備関係支払手形	115,439	42,658
その他	97,259	48,768
流動負債合計	3,250,466	3,235,082
固定負債		
長期借入金	3,319,479	4,230,895
リース債務	5,689	2,844
資産除去債務	472,118	489,705
その他	63	56
固定負債合計	3,797,349	4,723,501
負債合計	7,047,816	7,958,584
純資産の部		
株主資本		
資本金	709,709	709,709
資本剰余金		
資本準備金	498,509	498,509
その他資本剰余金	2,885	4,110
資本剰余金合計	501,395	502,619
利益剰余金		
利益準備金	7,300	7,300
その他利益剰余金		
別途積立金	600,000	600,000
繰越利益剰余金	1,446,905	1,234,128
利益剰余金合計	2,054,205	1,841,428
自己株式	△24,441	△52,108
株主資本合計	3,240,867	3,001,648
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	19,880	47,738
評価・換算差額等合計	19,880	47,738
純資産合計	3,260,748	3,049,386
負債純資産合計	10,308,564	11,007,970

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	13,591,652	10,710,003
売上原価	7,340,240	5,912,316
売上総利益	6,251,412	4,797,687
販売費及び一般管理費	6,001,914	4,773,940
営業利益	249,497	23,746
営業外収益		
受取利息	2,022	1,746
受取配当金	3,286	1,290
受取保険金	55,487	379,850
自販機設置協賛金	13,368	23,279
貸倒引当金戻入額	27,580	528
その他	17,395	38,217
営業外収益合計	119,141	444,913
営業外費用		
支払利息	28,094	30,482
雑損失	4,866	4,498
営業外費用合計	32,960	34,980
経常利益	335,677	433,678
特別利益		
固定資産売却益	8,194	—
投資有価証券売却益	4	32,381
受取保険金	—	96,336
補助金収入	—	37,885
特別利益合計	8,198	166,602
特別損失		
減損損失	151,336	131,699
固定資産除却損	48,089	1,357
過年度決算訂正関連費用	80,950	—
臨時休業による損失	—	344,536
その他	52	530
特別損失合計	280,429	478,123
税引前当期純利益	63,447	122,157
法人税、住民税及び事業税	64,119	88,583
法人税等還付税額	—	△23,607
法人税等調整額	△39,377	186,527
法人税等合計	24,742	251,502
当期純利益又は当期純損失(△)	38,705	△129,345

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計	
						別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	693,887	482,687	—	482,687	7,300	600,000	1,511,316	2,118,616	△41,400
当期変動額									
新株の発行	15,821	15,821		15,821					
剰余金の配当							△103,116	△103,116	
自己株式の取得									
自己株式の処分			2,885	2,885					16,958
当期純利益							38,705	38,705	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)									
当期変動額合計	15,821	15,821	2,885	18,707	—	—	△64,411	△64,411	16,958
当期末残高	709,709	498,509	2,885	501,395	7,300	600,000	1,446,905	2,054,205	△24,441

	株主資本	評価・換算差額等		純資産合計
	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	3,253,792	49,533	49,533	3,303,326
当期変動額				
新株の発行	31,642			31,642
剰余金の配当	△103,116			△103,116
自己株式の取得	—			—
自己株式の処分	19,844			19,844
当期純利益	38,705			38,705
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)		△29,652	△29,652	△29,652
当期変動額合計	△12,924	△29,652	△29,652	△42,577
当期末残高	3,240,867	19,880	19,880	3,260,748

当事業年度(自2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計	
						別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	709,709	498,509	2,885	501,395	7,300	600,000	1,446,905	2,054,205	△24,441
当期変動額									
新株の発行									
剰余金の配当							△83,431	△83,431	
自己株式の取得									△33,702
自己株式の処分			1,224	1,224					6,035
当期純利益							△129,345	△129,345	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)									
当期変動額合計	—	—	1,224	1,224	—	—	△212,776	△212,776	△27,666
当期末残高	709,709	498,509	4,110	502,619	7,300	600,000	1,234,128	1,841,428	△52,108

	株主資本	評価・換算差額等		純資産合計
	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	3,240,867	19,880	19,880	3,260,748
当期変動額				
新株の発行	—			—
剰余金の配当	△83,431			△83,431
自己株式の取得	△33,702			△33,702
自己株式の処分	7,260			7,260
当期純利益	△129,345			△129,345
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)		27,857	27,857	27,857
当期変動額合計	△239,219	27,857	27,857	△211,361
当期末残高	3,001,648	47,738	47,738	3,049,386

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	63,447	122,157
減価償却費	1,425,279	1,266,413
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△31,438	△10,313
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,615	273
受取利息及び受取配当金	△5,308	△3,037
受取保険金	—	△465,906
支払利息	28,094	30,482
固定資産売却損益 (△は益)	△8,194	—
有形固定資産除却損	48,089	1,357
減損損失	151,336	131,699
過年度決算訂正関連費用	80,950	—
売上債権の増減額 (△は増加)	193,340	△24,411
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△8,031	45,528
仕入債務の増減額 (△は減少)	△203,463	110,499
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△32,381
未払消費税等の増減額 (△は減少)	97,180	△48,411
その他	937	6,534
小計	1,833,834	1,130,485
利息及び配当金の受取額	3,421	1,388
利息の支払額	△28,072	△30,334
過年度決算訂正関連費用の支払額	△39,200	△41,750
法人税等の支払額	△157,370	△40,147
法人税等の還付額	—	52,566
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,612,612	1,072,208
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△719,300	△1,008,200
定期預金の払戻による収入	719,800	1,072,200
有価証券の取得による支出	—	△200,000
有形固定資産の取得による支出	△1,630,705	△621,192
有形固定資産の売却による収入	58,400	—
投資有価証券の売却による収入	—	59,165
無形固定資産の取得による支出	△2,755	△7,825
保険積立金の積立による支出	△35,568	△15,453
保険積立金の解約による収入	22,384	783,773
敷金及び保証金の差入による支出	△107,225	△13,480
敷金及び保証金の回収による収入	11,933	54,770
その他	1,870	575
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,681,167	104,331

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,100,000	2,500,000
長期借入金の返済による支出	△1,428,517	△1,456,370
リース債務の返済による支出	△14,664	△9,601
割賦債務の返済による支出	△2,125	—
ストックオプションの行使による収入	19,844	7,260
自己株式の取得による支出	—	△33,702
配当金の支払額	△103,054	△83,382
財務活動によるキャッシュ・フロー	△428,517	924,204
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△497,072	2,100,744
現金及び現金同等物の期首残高	2,677,732	2,180,660
現金及び現金同等物の期末残高	2,180,660	4,281,404

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源配分の決定や、業績を評価するために定期的に点検を行う対象となっているものであります。

当社の報告セグメントは、サービス別に構成されており「アミューズメント施設運営」及び「アミューズメント機器販売」の2つの事業を報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「アミューズメント施設運営」は、アミューズメント施設の運営を行っております。

「アミューズメント機器販売」は、アミューズメント関連機器等の販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	財務諸表 計上額 (注) 3
	アミューズ メント施設 運営	アミューズ メント機器 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,733,058	2,726,328	13,459,386	132,265	13,591,652	—	13,591,652
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	10,733,058	2,726,328	13,459,386	132,265	13,591,652	—	13,591,652
セグメント利益	884,235	57,185	941,420	7,109	948,530	△699,032	249,497
その他の項目							
減価償却費	1,392,308	273	1,392,581	71	1,392,653	32,626	1,425,279
減損損失	151,336	—	151,336	—	151,336	—	151,336
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,631,019	—	1,631,019	—	1,631,019	4,548	1,635,568

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、広告代理店業を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△699,032千円は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額4,548千円は本主に係る設備投資額であります。

3. セグメント損益は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	財務諸表 計上額 (注) 3
	アミューズ メント施設 運営	アミューズ メント機器 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,254,445	2,306,862	10,561,308	148,694	10,710,003	—	10,710,003
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	8,254,445	2,306,862	10,561,308	148,694	10,710,003	—	10,710,003
セグメント利益	505,695	39,990	545,685	13,584	559,270	△535,523	23,746
その他の項目							
減価償却費	1,115,158	30	1,115,189	1	1,115,190	29,127	1,144,318
減損損失	131,699	—	131,699	—	131,699	—	131,699
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	502,637	—	502,637	—	502,637	7,941	510,579

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、広告代理店業を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△535,523千円は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額7,941千円は本社に係る設備投資額であります。

3. セグメント損益は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	547.13円	514.68円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	6.55円	△21.69円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	6.49円	—円

(注) 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期損失及び潜在株式調整後1株当たりの当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)		
当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	38,705	△129,345
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	38,705	△129,345
普通株式の期中平均株式数(株)	5,909,477	5,963,295
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
普通株式増加数(株)	57,397	—
(うち新株予約権(株))	(57,397)	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

(注) 当事業年度の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。